

オンボA遺跡

所在地 豊田市下山田代町オンボ・下引地地内
(北緯 35 度 1 分 12 秒
東経 137 度 18 分 43 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成
事業

調査期間 平成 26 年 8 月～平成 27 年 2 月

調査面積 1,100 m²

担当者 鵜飼雅弘・橋本 昇

事業者名 愛知県企業庁

調査の経過 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う事前調査として、愛知県企業庁より委託を受けて実施した。

立地と環境 本遺跡は、保久川支流上沢尻川の上流に位置し、西北西に向かって開口する小規模な谷に立地している。標高は海拔 465m前後で、調査前の状況は山林であった。本遺跡の南にはオンボ C 遺跡、南西にはオンボ B 遺跡があり、更にその南西方向には引地上切 A 遺跡・引地上切 B 遺跡・引地上切 C 遺跡がある。

調査の概要 今回の調査では、古代、中世及び近世以降の遺構・遺物を確認した。

古代の遺構としては、谷の開口部に当たる調査区西端部で竪穴建物(0002SI)を 1 棟検出した。平面プランは、約 3.2m四方の方形である。遺構内からは、被熱により硬化した焼土を検出した。遺物は、床面に近い埋土から灰釉陶器、土師器が出土した。

0002SI の中央部では、土坑 2 基(0236SK・0237SK)を検出した。0236SK からは花崗岩の礫が集中して出土した。0236SK は、0002SI 床面の焼土の一部を破壊しており、0002SI 廃絶後に掘られたものである。さらに、0236SK の礫を取り除いた下方で 0237SK を検出した。0237SK からは灰釉陶器や土師器が出土し、底部では用途不明の鉄製品が出土した。また、これらとは別に調査区南西部の包含層掘削で土錘 1 点が出土した。

中世の遺構としては、調査区南東部の斜面上方で、自然流路(0030NR)を南北に横断する溝(0016SX)を検出した。0016SX は、北端では西方向にほぼ直角に屈曲するのに対し、南端では屈曲が緩やかであった。また、0016SX の下方で土坑 2 基(0041SK・0084SK)とピット群を、0016SX の東側壁面で杭痕 6 基を検出した。遺物は、0030NR から山茶碗、土師質土器の羽釜・伊勢鍋、施釉陶器、青磁碗が出土した。0016SX からは、山茶碗、土師質土器が出土した。

この他に、時期不明の遺構として、調査区北部で炭焼窯とみられる 0073SY、0074SY、0203SK、0118SY、0119SY、0127SK、0121SY を検出した。0073SY と 0074SY と 0203SK、そして、0118SY と 0119SY と 0127SK は、それぞれ切り合っており、繰り返し利用されていたことが分かる。なお、壁面が強く被熱を受けていることを確認したが、煙道は伴わない。

まとめ 本遺跡で検出した古代の遺構は、竪穴建物 1 棟であった。床面に焼土の広がりが見られ、灰釉陶器や土師器等も出土していることから、居住の跡を認めることができるものの、本遺跡での古代の生活の在り方について判断できる材料は乏しい。

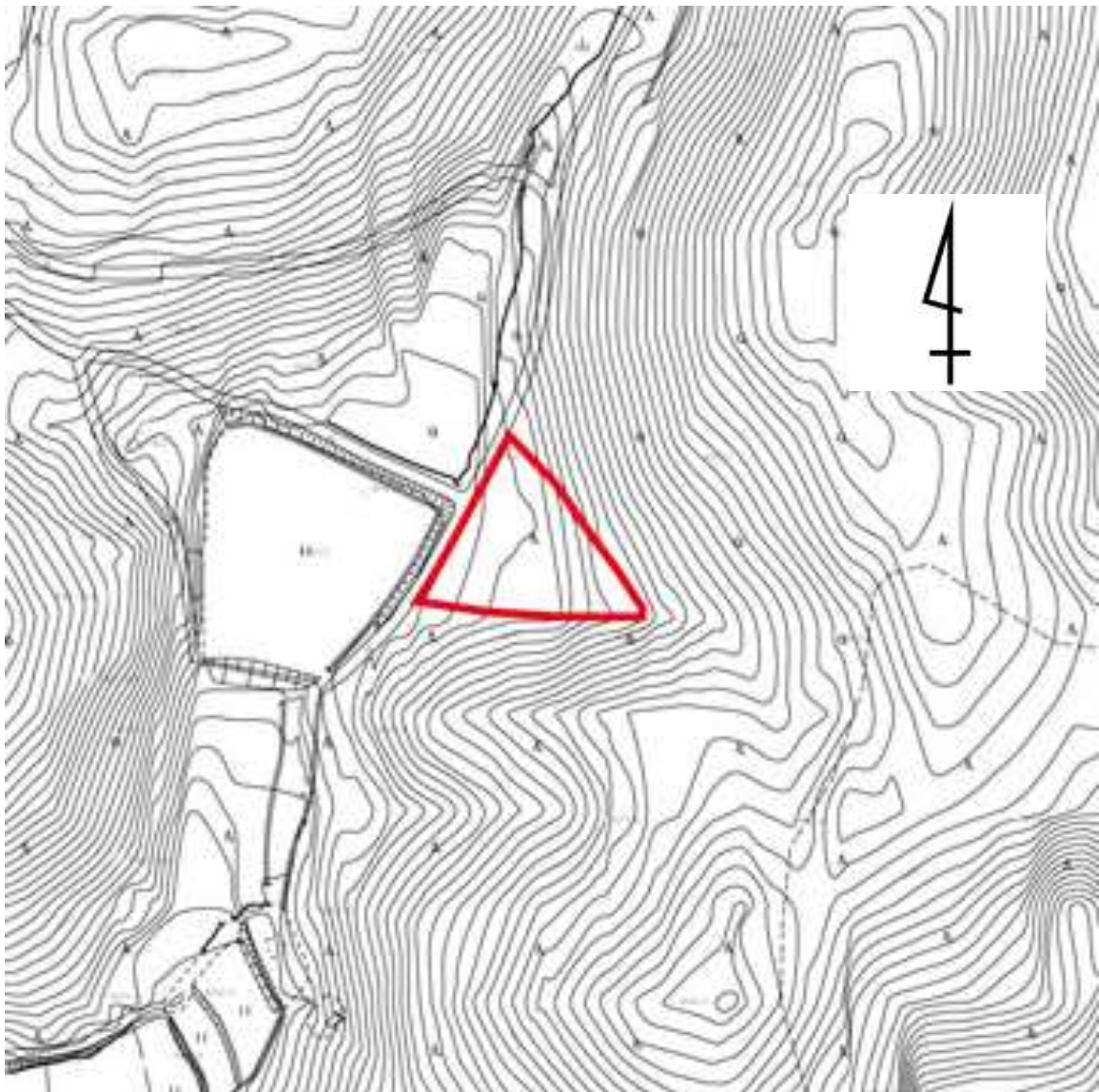


調査地点 (国土地理院 1/2.5 万地形図「東大沼」)

中世の遺構は、溝及び土坑・ピット群を検出した。溝は、土坑・ピット群を保護するかのよう構築されており、溝の壁面では複数の杭痕も確認できた。そして、山茶碗や土師質土器等の遺物は、これらの遺構が分布する範囲内で集中して出土した。遺物の出土状況は、調査区内の他の遺構検出地点と比較して、種類並びに点数共に多かった。ただし、これらの溝及び土坑・ピット群が、どのように使用されていたかは不明である。

また、本遺跡では、南東部の斜面上方や北部の炭焼窯が集中する区域で、盛土等を行っていたことが分かった。おそらく、何らかの生業を営む過程で、土地改変を繰り返し行っていたのであろう。山間地域において、どのような土地利用が行われていたかについて考察する上で、興味深い。

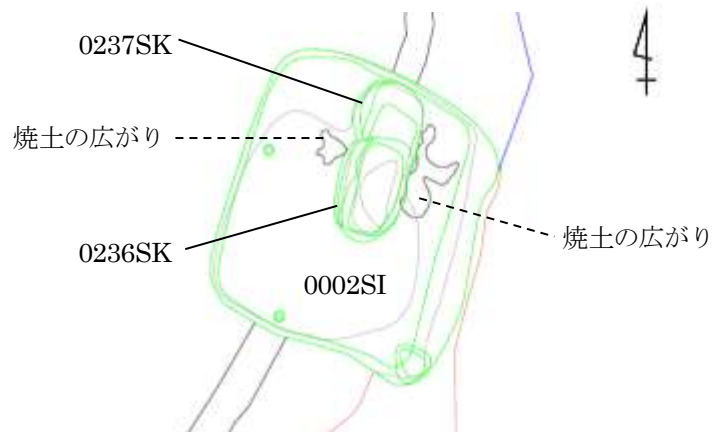
今回の調査で解明できなかった課題については、周辺の他の遺跡の調査成果との比較・検証等を行い、検討していく必要がある。 (橋本 昇)



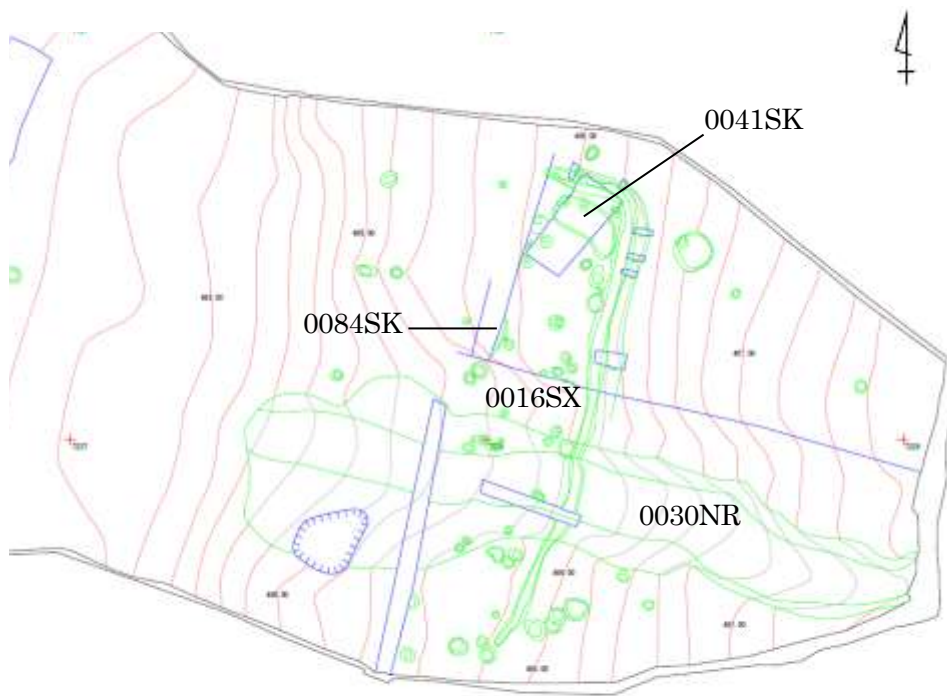
調査区図(S=1:1,000)



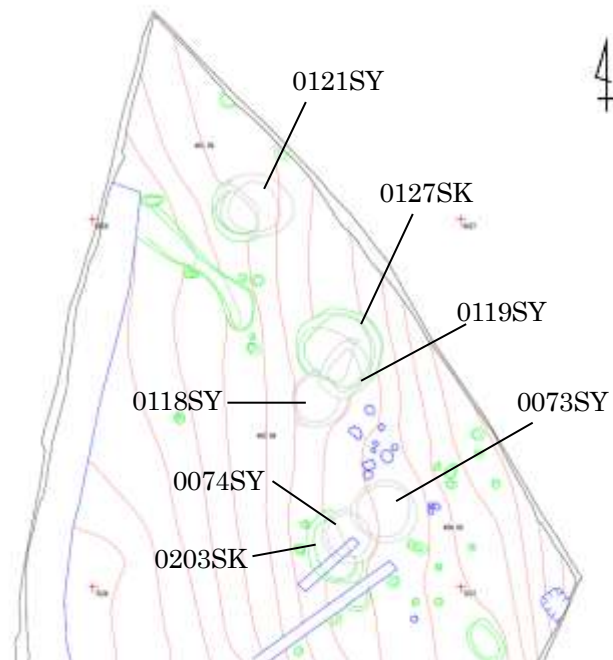
オンボA遺跡 遺構図 (S=1:300)



0002SI 遺構図 (S=1:100)



0016SX 遺構図 (S=1:200)



0121SY、0118SY、0119SY、0127SK、0073SY、0074SY、0203SK 遺構図 (S=1:200)



遺跡全景（真上から）



遺跡近景（西から）



0002SI 焼土検出状況（東から）



0002SI 完掘状況（東から）



0236SK 礫検出状況（上面部）



灰釉陶器出土状況（0237SK）



0237SK 完掘状況（東から）



土錘出土状況



0030NR 完掘状況（西から）



施釉陶器（蔦口壺）



0016SX 完掘状況（北から）



0227SP 完掘状況（南から）



青磁碗出土状況



0118SY（左）・0119SY(右)完掘状況